

科目	流体力学 (Fluid Mechanics)		
担当教員	土居 巖		
対象学年等	機械工学科・5年D組・後期・選択・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-2(80%) C2(20%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(d)2-d,(e),(g)
授業の概要と方針	5年前期の流体工学で教授できなかった空気機械や翼理論について、空気力学の観点から解説し、その応用課題としてのミニ製作をする。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-2】気体も液体も同じ流体であり、力学的エネルギーとしては同じであるが、具体的な取り扱いが違うことを理解する。		毎回行なう小テストと中間試験で評価する。
2	【A4-2】流体のエネルギー計算や揚力・抗力などの計算ができるようになる。		毎回行なう小テストと定期試験で評価する。
3	【A4-2】理論を身近で簡単なものに適用してみて、理論の応用力を身につける。		毎回行なう小テストと定期試験で評価する。
4	【C2】ミニ実験・製作についての的確に報告できる能力を身につける。		製作物のアイデアと作品の目標達成度、レポートにより評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験50%、小テスト20%、課題製作30%として評価する。		
テキスト	プリント		
参考書	「大学基礎流体機械改訂版」辻茂著(実教出版) 「流体力学の基礎と演習」比良・瀧澤著(廣川書店)		
関連科目	M4D「流体工学」、M5D「流体工学」		
履修上の注意事項	上記関連科目を理解しておくこと。プリントは講義ごとに配布するので、ファイルを用意しておくこと。		

